

本教材作成の趣旨と活用の仕方



○作成の趣旨

本教材は、情報モラルをはじめとして、子供たちが直面する現代的な課題や社会的な問題を題材として取り上げ、ねらいとする道徳的価値を子供たちが自分との関わりで深め、多面的・多角的に考えられるよう作成している。

情報モラルと現代的な課題に関する指導については、小・中学校学習指導要領において、その指導の充実が位置付けられており、子供たちが社会的課題を自分との関係において考え、その解決に向けて取り組もうとする意欲や態度を育てることが求められている。

GIGAスクール構想により実現した一人一台端末の環境下においては、子供たちが端末を鉛筆やノート同様に活用することが求められるが、子供たちが適切に、安全に端末を使いこなすためには、情報モラルに関する指導の充実が大切である。そこで本教材では、情報機器を巡って起こる様々な問題を題材として取り扱い、道徳科としての学習の特質を踏まえた上で、子供たちが考えを深めることができるようにしている。また、多様な表現や多様な人々との交流を可能とするなど、情報機器のよい面も取り上げつつ、ねらいとする道徳的価値を深められるよう配慮した。

科学技術の発展に伴う生命倫理の問題や社会の持続可能な発展など、現代的な課題を巡っては、様々な道徳的価値に関わる葛藤が生じる。そこで本教材では、これらの諸課題には多様な見方や考え方があり、短絡的な理解では解決することができないことに気付かせ教材とし、子供たちが多様な価値観をもつ人々と協働して問題を解決していくようとする意欲を育めるよう工夫した。

以上の作成の趣旨を踏まえ、本教材を活用いただきたい。

○活用の仕方

本教材は、「埼玉県の先輩にインタビュー!」「教材」「指導資料」から構成している。電子データによる配布としているため、授業での活用に当たっては、教師による印刷・配布だけでなく、教材データを教師や子供たちの端末にダウンロードして活用することができ

る。「埼玉県の先輩にインタビュー!」は、埼玉県ゆかりの著名な方へのインタビューから、その著名な方々の考え方や生き方を紹介している。道徳科の終末や校内・学級への掲示等、教師の創意工夫により活用できる。また、対象別に作成しているため、子供たちの発達の段階に合わせて活用いただきたい。小学校低・中学年の児童には、教師や保護者による読み聞かせも効果的である。

「教材」は、小学校低学年から高校まで、発達の段階に合わせて作成されている。なお、教材の対象学年や内容項目は、目次や指導資料に示している。また、教材によっては二次元コードから関連動画へアクセスすることができるものもあるので、適宜活用すると効果的である。

「指導資料」は、本教材を活用した道徳科の授業の進め方として、学習活動や主な発問の他、指導上の留意点を例示し、具体的に授業をイメージできるようにしている。特に、情報モラルや現代的な課題については多様な見方や考え方があることから、「教材作成の意図と取扱いの留意点」を十分参考にされたい。

道徳科の指導に当たっては、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の生き方（人間としての生き方）についての考えを深める学習となるよう、これらの教材等を活用しながら、指導方法の創意工夫に努めていただきたい。 ※（ ）内は中学校